

Hospital 病院クローズアップ

国立病院機構

宇都宮病院

ケアミックス型病院として、地域の多様な医療ニーズに応え
地域共生社会の実現をめざす

当院は急性期医療と慢性期医療、さらに在宅医療への橋渡し機能を担う回復期医療という3つの領域を診療しているケアミックス型の病院です。平成26年には新病棟（6階建、免震構造）が完成し、県内最大の地域包括ケア病棟、一般・結核ユニット病棟、リハビリテーション室などが稼働しました。リハビリの効果発現には時間がかかりますが、患者さんにより良い環境で取り組んで頂くために、「森を見下ろす天空のリハビリ室」とのコンセプトで新病棟の最上階をリハビリ室としました。

当院の特徴には、「専門性の高い急性期医療」と「公益性の高い慢性期医療」があります。前者は人工関節置換術や骨切り術、低侵襲の細径腹腔鏡手術を数多く施行しており、体に負担の少ない検査としてカプセル内視鏡や局所麻酔下胸腔鏡も件数が増加しています。後者としては重症心身障害（脳性まひなど）や神経難病があり、近年増加している医療のケア児や多様化・高度化している障害者医療にも対応可能な体制を整備しています。

一方、地域住民に救急処置を普及させる目的で、日本ACLS協会栃木トレーニングサイトを平成30年に立ち上げました。医療従事者から一般市民まで参加できる救急処置を学ぶコースを用意して、心肺蘇生法の講習を行うのも公的医療機関の使命（社会貢献）と考えています。「地域医療支援病院」「がん治療中核病院」「アレルギー疾患医療中核病院」の承認・選定を受けた医療の質向上だけでなく、平成20年度から「11年連続

黒字決算」と経営の質向上にも一定の結果を出してきました。

研修について今年度は21名の初期臨床研修医を受け入れる予定であり（当院は協力型）、シニアレジデントも整形外科・小児科・内科などで受け入れています。当院の人材育成方針は「Teaching is the best learning」（教育は最良の学習である／教えることは学ぶこと）であり、毎年多くの医学生・看護学生・薬学生・研修医・専任医などを受け入れています。400床ほどの中規模病院ですが多様な患者さんを多様なスタッフがチーム医療で支えており、豊富な臨床経験を積むことができます。また著名な外部講師を招いての各種講演会や研修会には毎回多数の参加者があり、県立がんセンターの協力の下で病理解剖やCPCも開催しています。

なお、当院は職場の環境整備や働き方改革にも積極的に取り組んでおり、平成30年には看護師の働き方を改善した病院として日本看護協会「カンゴザウルス賞」を受賞しました。多職種が協働する医療機関として、すべてのスタッフが「働きやすく働きたい」職場となるよう努めています。医療の仕事は辛い時もありますがやりがいがあり、患者さんの笑顔や感謝の言葉が我々を支えてくれ励ましてくれます。しかし、仕事だけが人生のすべてではありません。若手医師の皆さんには、仕事と同様にプライベートも充実した人生を送ってほしいと心から願っています。



院長PROFILE

沼尾 利郎（ぬまお・としお）
1982年獨協医科大学医学部卒業。
1982年獨協医科大学アレルギー内科（当時）にて研修、1990年米國クレイトン大学医学部アレルギー疾患センター研究員、1994年獨協医科大学呼吸器・アレルギー内科講師、2003年塩谷総合病院副院長、2006年国立病院機構宇都宮病院副院長を経て、2008年同病院院長に就任。
栃木県医師会常任理事、栃木県医師会勤務医部会理事、栃木県内科学会副会長、獨協医科大学臨床教授を務める。
所属学会：日本呼吸器学会（専門医／指導医）、日本アレルギー学会（代議員／専門医／指導医）など。

宇都宮病院 DATA

■所在地

栃木県宇都宮市岡本町2160
<https://utsunomiya.hosp.go.jp>

■病床数

380床（一般250床、重症心身障害病棟100床、結核30床）

■診療科目

内科／呼吸器内科／循環器内科／消化器内科／糖尿病／内分泌内科／脳神経内科／外科／呼吸器外科／整形外科／小児科（重症心身障害医療）／皮膚科／眼科／耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／放射線科／麻酔科／歯科

■研修の特色

当院はケアミックス型病院として「（病気を）治す医療」だけでなく「（生きるを）支える医療」も提供しており、勤務医と開業医の両方に必要なスキルノウハウとマインドが学べる地域中核病院です。病院独自のプログラムとして、重症心身障害へのチーム・アプローチ、結核患者へのDOTS（院内／地域）、神経難病における慢性期・終末期の管理、在宅医療における栄養管理・緩和ケアなど、多彩な分野の研修ができます。



リハビリ室



ナースステーション



重症病棟家族控室



宇都宮城址公園

宇都宮病院のある街

北関東最大の都市「宇都宮」は餃子とカクテルと JAZZ の街

宇都宮市は人口約52万人で、北関東最大の都市だ。都心へのアクセスも良く、人口50万人以上の都市で住みやすさ5年連続1位である。

宇都宮といえば餃子が有名で、市民の胃袋を長年満たしてきたソウルフードだ。この餃子の特徴は、焼き、水、揚げなどの種類が豊富で、店によって大きさや素材、皮の厚さ、包み方や羽根のつけ方、つけだれなどが異なり、様々な種類を楽しむことができる。また、全国バーテンダー技能競技大会の優勝者が銀座に次ぎ2番目に多いカクテルの街でもある。さらに、世界的なジャズプレーヤー渡辺貞夫（ナベサダ）を輩出して生ライブが

毎日楽しめるJAZZの街でもある。

市内で採掘される「大谷石」は、帝国ホテルなどの有名ホテルやモダン建築にも用いられる世界に誇る石材だ。大谷資料館は大谷石採掘の歴史に関する資料館で、大谷の地質、採掘場跡や採掘の仕方、搬出方法などを知ることができる。「大谷石文化」は2018年に日本遺産に認定された。

最近の話題ではBリーグ（バスケットボール）初代王者となったリンク栃木ブレックスをはじめプロスポーツチームが4つあり、新たな出会いの場である地域単位の合同コンパ「街コン」発祥の地として、宇都宮は「出会いの街」でもある。

